

こくさい新聞

中学1・2・3年生

下関市総合政策部
国際課

電話:083(231)9653

メール
sskokusa@city.shimo
noseki.yamaguchi.jp

下関市の小学生10名が 友好都市 中国・青島市を訪問!

下関市では、毎年小学生を友好都市 中国・青島市へ派遣しています。平成22年度は10月24日から10月27日にかけて行いました。今回で13回目となる中国派遣研修はどのようなものだったのでしょうか？今号ではその様子を皆さんにご紹介します。

感激、感動、感謝！ 青島市での研修が始まります。

***10月24日**

団員は新下関駅に集合し、先生や保護者に見送られ、新幹線で博多駅へ。その後、福岡空港から青島空港まで約2時間、飛行機で移動しました。

***10月25日**

いよいよ本格的な研修のスタートです。
中国の現地小学校を訪問



中国の太鼓の演奏を披露する小学生達

まずは、「宜陽路小学」という青島市内の現地小学校を訪問しました。到着



中国現地小学校での交流★とっても熱烈な歓迎を受けました。

後、団員達は熱烈な歓迎の様子に圧倒されていました。

言葉は通じないながらも一緒に合唱したり、折り紙を折ったり、20人21脚をしたりと、すばらしい日中間交流ができました。国を超えた友情が芽生えるなど大変思い出深い訪問でした。

緊張の青島市役所表敬訪問

お昼からは、青島市役所への表敬訪問です。普段は中国の市役所の中へは自由に入ることができません。今回は特別です。下関市の代表として、みんなドキドキしながら、事前研修で練習した中国語で自己紹介をしました。

青島市の水族館を見学

青島市の副秘書長と一緒に記念撮影。なんと、この水族館には下関市から贈られたイルカがショーをしているんですよ。

憧れのウエディングドレス工場を見学

今回の団員はみんな女の子。憧れのウエディングドレスを前にうっとりしていました。



ウエディングドレス工場★明るい職場でした

友好都市 中国青島市ってどんな街？

下関市と青島市は、1979年(昭和54年)10月に友好都市の関係を結び、2009年には30周年を迎えました。青島市は、山東半島の南部に位置する中国有数の都市です。また、青島港は中国有数の貿易港となっています。青島市と下関市とは1,078kmの距離(下関から東京までの距離とほぼ同じです)にあり、その間は「オリエンツフェリー」によって結ばれ、この航路を利用して下関市にはたくさんの中国からのお客さまが訪れています。2008年には、北京オリンピックのヨット競技開催都市として海外の注目を浴びました。



オリンピックヨットセンターの様子

中国は「世界の工場」と言われ、特に青島市のある山東省には繊維工場がたくさんあります。将来、皆さんもこの工場で作られたドレスを着ているかもしれないですね。

青島市内の古い建物を見学

青島市内には、ドイツの統治時代に建てられた建物がたくさんあります。その中でも小魚山公園と迎賓館を見学しました。



下の写真 迎賓館
左の写真 小魚山公園

***10月27日**

あっとい間に帰国です。みんなひと回り成長して下関市へ帰ってきました。

中学生は米国ピッツバーグ市への派遣研修を行います。詳細は今後のこくさい新聞にて発表するのでお楽しみに!

6年生のクラスにお邪魔しました。くくなりました。